角田夢（赤城）史上初V2

シニア川久保（フリー）PO制す

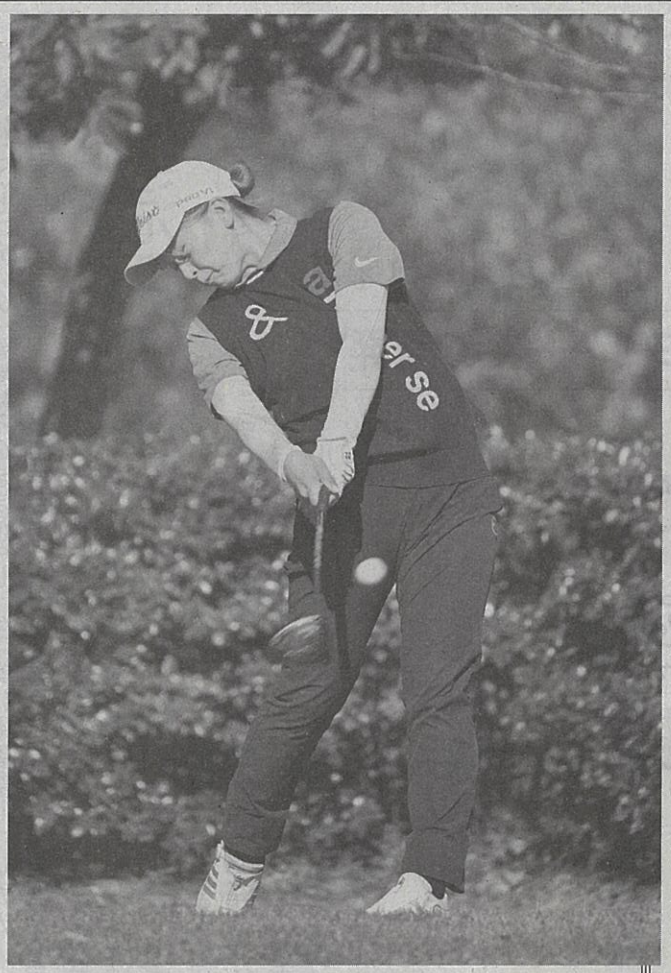
ゴルフ　県女子オープン

ゴルフの第15回県女子オープン選手権大会（県女子プロゴルフ会、県ゴルフ場協議会主催）は12日、矢板市のメイフラワーGC（パー72）で行われ、レギュラーの部（6503ヤード、パー72）は20歳の角田夢香（赤城GC）がパープレー72で大会史上初の連覇を飾った。50歳以上のシニアの部（5557ヤード、パー72）は川久保百代（フリー）が7連覇を狙う斉藤裕子（フリー）をプレーオフ（PO）で振り切り、初優勝した。

レギュラーに47人（プロ25人）、シニアに57人（プロ25人）の計104選手が出場。角田夢はアウトを37で回り、トップと3打差の3位グループで折り返すと、インで2バーディー、1ボギーの35と伸ばし、2位に1打差で逃げ切った。

2位には谷寧々（群・前橋育英高）が3バーディー、4ボギーの73で食い込み、ベストアマに輝いた。大会規定で池羽陽向（フリー）が3位。歴代女王でプロテストに合格したばかりの18歳小俣柚葉（フリー）は13位に終わった。

シニアは3アンダー69で川久保と斉藤が並び、大会史上初のPOに突入。2ホール目で川久保がパーを拾って決着した。3位は古澤千枝（宮の森CC）。日本女子オープンなどJLPGAツアー8勝の高又順（韓国、上総モナークCC）は7位。日本女子プロを含むツアー4勝の生駒佳与子（フリー）は18位。ベストアマは76で加藤仁美（那須塩原）が輝いた。



レギュラーの部2連覇を飾った角田夢の1番ティーショット＝メイフラワーGC、広瀬華撮影

谷寧々

加藤仁美

ヒロイン

勝負決めた冷静さ　角田夢

レギュラーの部で大会史上初となる連覇を達成した角田夢香（赤城GC）。優勝スピーチは「一打一打を大切にプレーした。来年は宣言プロではなく、プロテストに合格して出場したい」と実感を込めた。

初優勝の前回は25ヤードのアプローチを直接カップインさせるなど「神がかりな」ショットを連発。今回は9番パー5でダブルボギーをたたいたが、そこから四つのバーディーで巻き返す爆発力で頂点に立った。

キーホールは1オーバーで迎えた17番パー3（180ヤード）。6番アイアンで3・5メートルにつけると、「（パーに）戻せば上位に食い込める」と集中。軽いフックラインを確実に沈めた。結果的にこの1パットが勝負の分かれ目となった。

共愛学園高（群馬）ゴルフ部から赤城GC研修生となり、今秋「プロ宣言」した20歳。プロテストはこれまで3度挑戦し、いずれも1次で不合格。力不足を痛感するというが、「最近はゴルフが（イメージ通りに）できるようになった。今までと違うと分かる」と手応えをつかんだようだ。

昨年はアマ出場で賞金を受け取れなかったが、今回は初めて優勝賞金を獲得。「連覇で自信も深まった。この優勝を今後に生かしたい」とさらなる飛躍を見据えた。（井上孝男）

【第15回県女子オープン選手権大会】（6503ヤード、パー72）

【レギュラーの部】　グロス　アウト、イン

0	①角田　夢香（赤城GC）	72	(37、35)	
＋1	②☆谷　寧々（群・前橋育英高）	73	(37、36)	
＋2	③池羽　陽向（フリー）	74	(37、37)	
	④黒川莉奈子（〃）	74	(37、37)	
	⑤山崎　礼菜（筑波CC）	74	(36、38)	
	⑥松澤　奈美（鳥山城CC）	74	(34、40)	
＋3	⑦竹内　美来（フリー）	75	(37、38)	
＋4	⑧鈴木　恵子（〃）	76	(37、39)	
＋5	⑨三川　澄恵（〃）	77	(39、38)	
＋6	⑩☆土屋オードリー（三島中）	78	(40、38)	
	⑪植田希実子（スリーハンドレッドC）	78	(39、39)	
	⑫菊地　広恵（レイクランドCC）	78	(39、39)	
	⑬小俣　柚葉（フリー）	78	(37、41)	
＋7	⑭渡辺かをり（〃）	79	(41、38)	
	⑮白石　実零（赤城GC）	79	(38、41)	
	⑯☆松枝未倖（文星女子高）	79	(40、39)	
	⑰柳澤木の実（フリー）	79	(41、38)	
	⑱☆辻　結名（佐野日大高）	79	(40、39)	
	⑲菊地　りお（フリー）	79	(41、38)	
	⑳田村　良海（〃）	79	(37、42)	
＋8	㉑小浜　純華（〃）	80	(39、41)	
	㉒茹　菜都美（Golferweb）	80	(39、41)	
	㉓吉田　藍子（フリー）	80	(42、38)	
	㉔渡辺　順子（〃）	80	(41、39)	
	㉕菊地レイナ（〃）	80	(39、41)	
	㉖安納　昭江（〃）	80	(40、40)	
＋9	㉗菊地　祐江（鹿能グリーンCC）	81	(39、42)	

【第15回県女子オープン選手権大会】（5557ヤード、パー72）

【シニアの部】　グロス　アウト、イン

−3	①川久保百代（フリー）	69	(34、35)
	②斉藤　裕子（〃）	69	(33、36)
0	③古澤　千枝（宮の森CC）	72	(35、37)
	④大竹　康子（唐沢GC）	72	(38、34)
＋1	⑤内田　琴子（フリー）	73	(39、34)
	⑥金森三河子（〃）	73	(36、37)
	⑦高　又順（上総モナークCC）	73	(37、36)
	⑧堀場　美香（鹿沼72CC）	73	(36、37)
＋4	⑨☆加藤仁美（那須塩原）	76	(39、37)
	⑩小久保由加里（ゴルトモアカデミー）	76	(40、36)
＋5	⑪良田　陽子（小幡郷GC）	77	(39、38)
＋6	⑫二階堂美加（ロフェアーチサポート）	78	(37、41)
	⑬土屋　陽子（筑波CC）	78	(38、40)
＋8	⑭☆角田里子（宇都宮）	80	(39、41)
＋9	⑮小倉　由子（富岡倶楽部）	81	(41、40)
	⑯☆林美由樹（宇都宮）	81	(39、42)
＋10	⑰小川真由美（星の宮CC）	82	(39、43)
	⑱生駒佳与子（フリー）	82	(41、41)
	⑲岡野　圭子（筑波CC）	82	(40、42)
＋11	⑳石川　恵子（フリー）	83	(39、44)
＋12	㉑福田由美子（〃）	84	(41、43)
＋13	㉒渡辺　正子（〃）	85	(39、46)
＋15	㉓岡田美智子（日本ヴィンドミルGA）	87	(42、45)
＋16	㉔☆滝口紀子（足　利）	88	(42、46)
	㉕☆秋山ミイ（宇都宮）	88	(42、46)
＋17	㉖高久八重子（フリー）	89	(44、45)
	㉗岡田裕美子（プロゴルフショップオカダ）	89	(45、44)

☆はアマ。同スコア順位は大会規定による。

準備は難航

アスリートの性的画像問題

安心できる環境へ　道半ば

アスリートが性的な意図で撮影される問題を巡っては、4年前のスポーツ界による撲滅宣言を機に啓発や競技団体などの対策が進んだ。一方、撮影の手口が巧妙化していることに加え、撮影を規制する法整備も難しいのが現状で、依然として課題も残る。選手が安心して競技に打ち込める環境へ道半ばのいでいるのが現状だ。

スポーツ庁の調査では、競技団体から「撮影機材がマイクロヒ…ており、発見…

る際には、選手のユニホーム姿の撮影も対象とするかどうか議論となった。ただ、盗撮かどうかの線引きが難しいことから対象外となり、衆参両院の法務委員会は今後規制の検討を求める付帯決議を採択した。競技の現場では撮影を許可制とすることや、啓発ポスターの掲示などの対策でしのいでいるのが現状だ。

スポーツ庁の調査では、競技団体から「撮影機材がマイクロヒ…ており、発見…

声もある。昨年の刑法改正で「性的姿態撮影罪」を新設す…

東京五輪体操女子で、足首まで覆うボディースーツを着て練習するドイツ選手＝2021年7月、有明体操競技場

関東高校選抜

ホッケー男子　今市27度目V

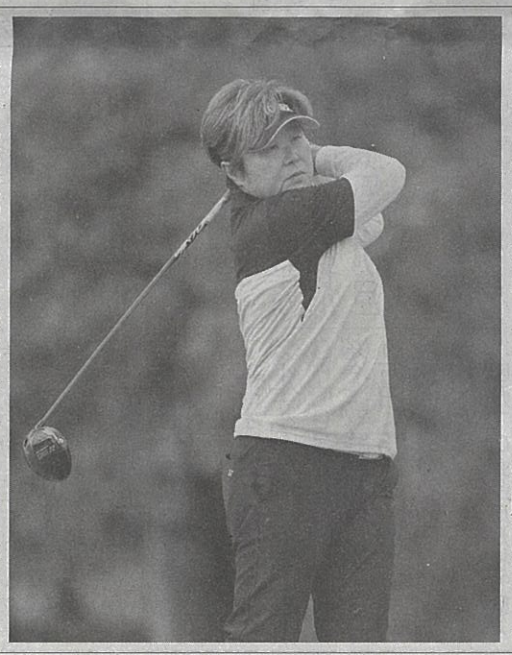
関東高校選抜スポーツま…

ぞれ準優勝した。

◇ホッケー（神奈川・慶大日吉ホッケー場ほか）

【男子】▽2回戦　今市12―0慶応（神奈川）▽準決勝　今市9―1法大二（神奈川）▽決勝

（0―0）



シニアの部を制した川久保のプレーオフ1ホール目のティーショット

光った修正力と安定感

○…シニアの部で斉藤裕子（フリー）の7連覇を阻止した54歳の川久保百代（フリー）。「何も考えずに自分のゴルフをしただけ」と会心の笑顔で振り返った。

修正力と安定感が光った。インは2ボギーと苦しいスタートとなったが、終盤の3バーディーで35。アウトは2バーディー34にまとめた。

ステップアップツアー2勝。今月のレジェンズツアー「ボンドカップ」は6位と好調だ。今大会は先輩に誘われての出場だったが、「来年も日程が合えば、ぜひ出場したい」と結んだ。

菊地、細部の精度悔やむ

○…5年ぶり3度目となるレギュラーの部制覇を目指した菊地りお（フリー）だったが、7オーバーの19位。不本意な結果に「何も修正できなかった」と絞り出した。

アプローチがピンに寄らず、7番パー4では3パットのダブルボギー。硬く速いグリーンに苦しめられ、「そこを耐えて優勝したかった」と悔やむ。

14、15の両日は「マイナビネクストヒロインゴルフツアーファイナル」が控える。「そこで勝ちたい。そのための準備をしっかりと」と前を向いた。

フリー・斉藤裕子（プレーオフで敗れ、シニアの部7連覇を逃す）「遠征続きの疲労がたまっていたが、よくプレーオフまで持ってこられたと思う。ベストは尽くしたし、69のスコアには満足して…

早大9年ぶり春秋V

東京六大学野球

東京六大学野球秋季リーグは12日、神宮球場で優勝決定戦が行われ、早大が明大に4―0で快勝し、2季連続で史上最多を更新する48度目の優勝を果たした。早大の連覇は2015年春秋以来で、20日開幕の明治神宮大会に出場する。

勝ち点4、…けで並んで10…る13度目の優…大が二回に1…回は小沢の2…で3点を追加…た。

エース伊藤…安打、無四球…制覇を狙った…た。

早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明大	0	0	1	0	0	0	0	3	×

（明）毛利、千葉…

園部・白石組　男子個人制す

ソフトテニス高校大会

第7回下野杯高校ソフトテニス大会は9、10の両日、県総合運動公園テニスコートで男女個人を行い、男子は園部友也・白石将也組（文星芸大付）、女子は秋田紅美子・広谷流凜組（宇都宮短大付）が優勝した。

【男子】▽個人準々決勝　黒須・神長（文星付）4―3大草・大塚（宇短大付）、並木・和久井（宇短大付）4―0阿美・星（宇工）、加賀谷・三森（宇短大付）4―0仲野・薄井（黒磯）、園部・白石（文星付）4―1玉木・水沼（宇工）▽準決勝　並木・和久井4―1黒須・神長、園部・白石4―0

加賀谷・三森▽決勝

園部・白石	4	5	4	4
並木・和久井	1	7	6	6

【女子】▽個…・西牧（白鷗足利）…福地（白鷗足利）4―2…星女）、生井・…

男子個人優勝の園部・白石組

戦　佐藤6―0川村（埼・栄東）▽3回戦　島村（千・千葉英和）6―2佐藤

【女子】▽個人予選順位　⑭野澤恩（烏山）515点㉚松澤実冬（鹿沼）475点㊾坂本彩菜（同）322点▽決勝トーナメント1回戦　橋…（神・黄兵）6―0友本、寺田…

＝2回戦敗退、…足利）鎗脇大珠…3回戦敗退）▽同…（東・足立学園…澤柾人（文星付…▽73キロ級　村…島瑠久杜、浅海…＝以上2回戦敗…（東・多…